

## 東北放送

|      |                                            |
|------|--------------------------------------------|
| 活動名  | 民間放送教育協会読み聞かせ事業<br>～ t b c アナウンサーによる読み聞かせ～ |
| 実施期間 | 令和 6 年 12 月 13 日（金）、令和 7 年 1 月 24 日（金）     |
| 実施回数 | 会場 2 回                                     |

### 【事業実施の成果・課題】

前回（2022 年 1 月）はコロナウィルス感染者数が増大の為、弊社 YouTube「杜の放送局」で、tbc アナウンサーが宮城県に伝わる民話を朗読し配信しました。

今回はコロナウィルスも沈静化しましたので、弊社・杜のホールでリアル開催を実施しました。名取市立相互台小学校 5 年生の生徒、仙台市立金剛沢小学校 5 年生の生徒が弊社社内見学に訪問された際に冒頭で読み聞かせ事業、話し方教室等を務めさせていただきました。

併せて弊社の活動や、仕事の内容について DVD でご紹介させていただきました。

終了後、テレビスタジオの見学、ラジオスタジオの見学にご案内させていただきました。

両小学校の生徒たちは普段はテレビでしか見れないアナウンサーの生での朗読、話し方教室に非常に興味を持って耳を傾けていたと思われます。各小学校の生徒たちは充実した 1 日だったと推察されます。微力ながら、「読み聞かせ事業」、「小学生の社会見学」のご協力にお役に立てたかと思えます。

### 【事業担当者およびアナウンサー（講師・読み手）の感想】

＜増子華子アナウンサー＞（12/13（金）名取市立相互台小学校担当）

地域に伝わる民話を、方言を交えて読み聞かせるということで、アクセントや表現の練習を重ねた。普段耳にする機会が少ない言葉やわかりづらい部分もあったが参加した児童たちにも理解できるよう、読み方を工夫して伝えた。

話し方教室では、子どもたちにも身近に感じられるようにはきはきとした挨拶を取り上げた。日常生活の中でも活用し、放送局の仕事を身近に感じてもらえると幸いである。

＜守屋周アナウンサー＞（1/24（金）仙台市立金剛沢小学校担当）

読み聞かせも話し方講座も子どもたちは興味を持って、熱心に聞いてくれたと感じた。こちらが問いかけた際にも手を上げたりうなずいたりといった反応があった。質問コーナーでも積極的に手が上がり、アナウンサーの仕事にも興味をもってくれていると感じた。

## 【教諭・保育士・子どもたち・視聴者などの感想】

### < 12 / 13 (金) 名取市立相互台小学校読み聞かせ事業・話し方教室の感想について >

ほとんどの児童にとって初めて触れる仙台弁は、とても興味深いものであったようです。

#### < 教諭の感想から >

・5年生の2月頃の国語の授業の中に、「方言と共通語」という学習があります。同じ土地に暮らしたり、育ったりした人同士が互いの気持ちや考えを細やかに伝え合うために欠かせない言葉が「方言」であり、守っていかなければならない大切なものであるということを、授業の中で学んでいく予定です。そうした学習を実施する前に今回の仙台弁での読み聞かせをしていただいたことで、方言の学習により親しみを持って、方言を身近に感じながら学んでいくことができると感じていました。

・子どもたちにも普段から、「相手に伝えるため」の話し方を意識するよう指導しています。今回、アナウンサーの方からの読み聞かせと話し方教室に参加させていただいたことで、教室で音読などの指導する際にも、より具体的な言葉で良い話し方について考えさせることができそうです。

#### < 児童の感想から >

・仙台弁にはあまりなじみはないけれど、アナウンサーさんのお話の仕方のおかげでとても聞き取りやすかったです。

・私は初めて仙台弁を聞きました。思っていたよりもすごく分かりやすい話し方で、とても興味を持ちました。

・仙台弁の文福茶釜は、昔の人がしゃべっているみたいですごかったです。

・少し聞いたことのある仙台弁もあっておもしろかったです。上手な話し方のお話を聞いて、私ももっと音読が上手になれる気がしました。

・仙台弁で文福茶釜を聞いてみて、知らない言葉があったりしておもしろかったです。仙台弁の他にも、いろいろな言葉があるんだなと思いました。

・仙台弁の文福茶釜を聞いて、仙台にも方言があることを初めて知りました。話し方のコーナーでは、母音を分かりやすく話すと良いことがわかりました。